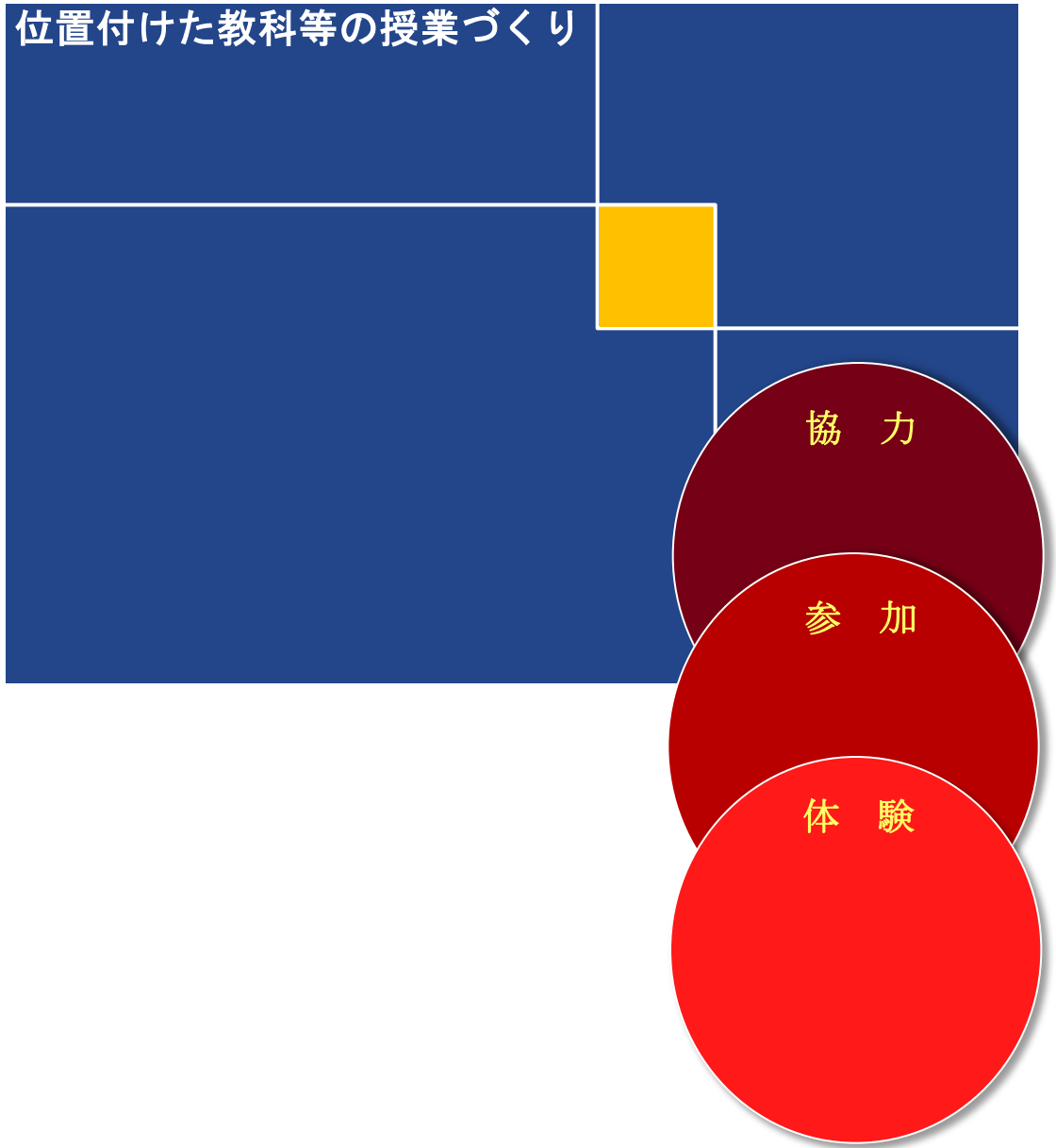


人権教育を通じて育てたい資質・能力を
位置付けた教科等の授業づくり



平成27年3月

はじめに

人権教育の目標は、一人一人の児童生徒がその発達段階に応じ、人権の意義・内容や重要性について理解し、[自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること]ができるようになり、それが様々な場面や状況下での具体的な態度や行動に現れるとともに、人権が尊重される社会づくりに向けた行動につながるようにすることです。

県教育委員会では、このことを踏まえ、平成24年度から平成26年度までの3年間、「人権教育の系統的指導プログラム開発事業」を実施し、特に人権感覚育成の観点から、小学校・中学校・高等学校の発達段階に応じた効果的な指導方法等について調査研究を行ってきました。

この「人権教育資料Ⅲ」は、県内の学校への効果的な人権感覚育成の指導方法の普及を図るため、本事業指定校の研究成果をとりまとめ、人権教育の指導資料として作成したものです。

本資料が、各学校で広く活用され、児童生徒の人権感覚育成に役立つことを願っています。

おわりに、本資料の作成に当たり、3年間研究を積み重ね、実践内容を提供して下さった各指定校をはじめ、御協力いただいた関係各位に対して、厚く御礼申し上げます。

平成27年3月

福岡県教育委員会

理論編

はじめに	1
「人権教育資料Ⅲ」の活用にあたって	2
人権教育を通じて育てたい資質・能力	3
人権感覚育成に関わる指導方法	3
※やってみよう！人権感覚育成の授業づくり	4
【参考】「よりよい人間関係を築く学校生活や授業」	
人権教育を通じて育てたい資質・能力の主題研究への位置付け	5
【参考】「効果のある学校」	
「人権教育の系統的指導プログラム開発事業」とは	6

実践事例編

【コミュニケーション能力】	
○大川小学校・宮前小学校・大川中学校実践	7
○今元小学校・蓑島小学校・今元中学校・青豊高等学校実践	9
【人間関係調整能力】	
○吉木小学校・内浦小学校・岡垣中学校実践	11
○桂川小学校・桂川東小学校・桂川中学校・嘉穂総合高等学校実践	13
【想像力・共感的理解力】	
○小郡小学校・東小田小学校・北野中学校実践	15
○天拝小学校・二日市北小学校・二日市中学校・柏陵高等学校実践	17

「人権教育資料Ⅲ」の活用にあたって

この「人権教育資料Ⅲ」は、「人権教育の系統的指導プログラム開発事業」研究指定校の実践を整理し、特に「人権教育を通じて育てたい資質・能力を位置付けた教科等の授業づくり」の具体的な実践を示したものです。

理論編として、「人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕」や「福岡県人権教育推進プラン」にある人権感覚育成の考え方を示しています。

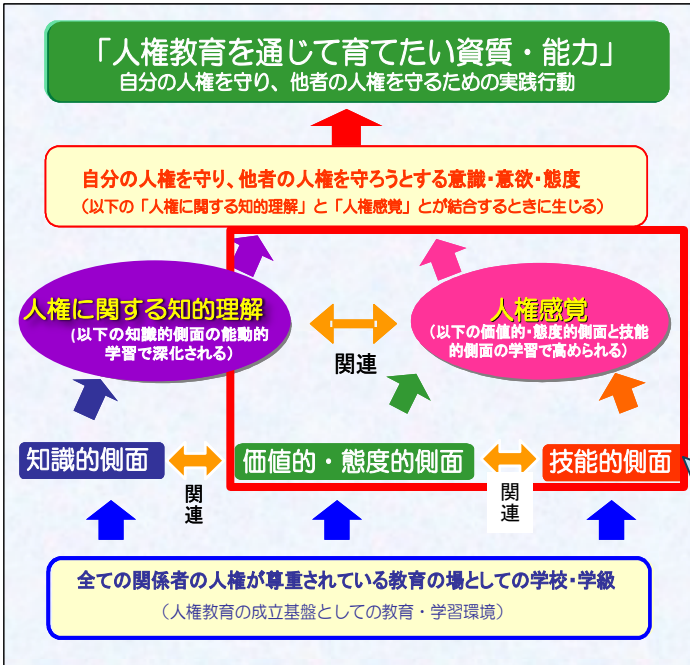
実践事例編として、人権教育を通じて育てたい資質・能力の中でも特に「想像力・共感的理解力」「コミュニケーション能力」「人間関係調整能力」を取り上げ、研究指定校における具体的な実践事例を掲載しています。

「授業の実際」については、授業等で活用する際の参考となるよう、展開の要点と資質・能力育成のための支援を明示しています。

なお、本資料の活用にあたっては、特に下記の点に留意してください。

- (1) 児童生徒の内面や課題等について十分に把握する等、確かな児童生徒理解に努めること。
- (2) 各学校における人権教育全体計画、年間指導計画等の全体構造を踏まえた上で、人権教育を通じて育てたい資質・能力を位置付けた教科等の授業づくりとして、意識して指導すること。
- (3) 実践事例で示されている取組については、児童生徒の実態及び教科等の特質を踏まえ、各学校において創意工夫すること。

1 人権教育を通じて育てたい資質・能力



【人権教育を通じて育てたい資質・能力の全体構造】
(「福岡県人権教育推進プラン」より)

○ 知識的側面

この側面の資質・能力は、人権に関する知的理解に深く関わるものです。(自由、責任、権利などの諸概念、人権の歴史や現状、国内法や国際法等に関する知識等)

○ 価値的・態度的側面

この側面の資質・能力は人権感覚に深く関わるものです。(人間の尊厳の尊重、自他の人権の尊重、多様性に対する肯定的評価等)

○ 技能的側面

この側面の資質・能力は人権感覚に深く関わるものです。(想像力・共感的理解力、コミュニケーション能力、人間関係調整能力等)

人権感覚の育成については、人権感覚をそのまま教育の対象として捉えるのは容易ではありません。人権教育を通じて育てたい資質・能力(以下「資質・能力」)の全体構造を意識しつつも、児童生徒の実態や人権教育推進上の課題を踏まえ、「価値的・態度的側面」や「技能的側面」に属する諸要素としての価値や態度、諸技能の中からいくつかを個別に取り上げ、重点的に取り組むことが必要となります。その価値や態度、諸技能の育成を図ることで、いわば間接的に人権感覚を育てることになります。

2 人権感覚の育成に関わる指導方法

自分で「感じ、考え、行動する」主体的・実践的な学習が必要で、指導方法として、児童生徒の「協力」、「参加」、「体験」を重視することが大切です。

人権感覚を育成する基礎となる価値的・態度的側面や技能的側面の資質・能力に関しては、児童生徒が自らの経験を通してはじめて学習できるものです。つまり、児童生徒が自らが主体的に、しかも学級の他の児童生徒たちとともに学習活動に参加し、協力的に活動し、体験する学習過程を通してはじめて身に付くといえます。

その際、教師の丁寧な実態把握を踏まえた、人権感覚育成のための意図的な働きかけが大切です。

○ 協力し合う学習(協力的な学習)

学級や学習集団全員が協力しつつ共同で進める学習であることが大切です。こうした協力的な学習は、生産的・建設的に活動する能力を促進させ、結果として学力の向上にも影響を与えと言われています。さらに、様々な人に配慮し、責任感に満ちた人間関係を促し、精神面・心理面での成長をもたらし、社会的技能や自尊感情を培うことにつながります。

○ 主体的に参加する学習(参加的な学習)

一人一人の児童生徒が、学習に主体的に参加できるように工夫することが大切です。児童生徒は参加を通して、他者の意見を傾聴し、他者の痛みや苦しみを共感し、他者を尊重し、自身の決断と行為に対して責任を負うことなどの諸能力を発展させることができます。

○ 体験的な活動を取り入れた学習(体験的な学習)

具体的な活動や体験を通して、問題を発見したり、その解決法を探究したりするなど、生活上必要な習慣や技能を身に付ける学習です。体験的な学習や問題解決的な学習は、児童生徒が自ら学ぶ意欲や主体的に学ぶ態度を身に付けるとともに、自らの心と頭脳と体とを働かせて、試行錯誤しつつ、身をもって学ぶことで、生きた知識や技能を身に付けることができます。

☆やってみよう！人権感覚育成の授業づくり

児童生徒の実態から、この授業で育てたい「資質・能力」を明確にし、教科等のねらいや場面に合わせて、意図的に手立てを考えることが大切です。

(1)児童生徒の実態を把握する。

児童生徒の実態(教科等の既習内容の定着、「資質・能力」の現状等)を丁寧に把握し、育てたい「資質・能力」を明確にします。
(例：コミュニケーション能力、人間関係調整能力、自己肯定感・・・)

※児童生徒理解に当たっては、行動等の現象や結果だけで判断したり決めつけたりするのではなく、その背景や原因を正しく捉え、児童生徒の内面や課題を十分に把握することに努めることが大切です。

(2)教科等の単元目標や本時の目標設定とともに、「資質・能力」育成の目標も設定する。

育てたい「資質・能力」について、単元や本時で育成する力について具体化します。
(本時では・・・「交流の場において、手順を示すことで、友だちの考えと比べながら、うなずくなどの反応を示して聴くことができるようにする」コミュニケーション能力)

人権教育を通じて育てたい資質・能力（8系列）

「価値的・態度的側面」の系列

- 人間の尊厳・価値の尊重、
自己尊重の感情
- 多様性の尊重・共生
- 権利と責任、公平・公正
- 参加・参画

「技能的側面」の系列

- 想像力・共感力
 - コミュニケーション能力
 - 人間関係調整力・問題解決力
 - 公正・公平な思考力・判断力
- (「福岡県人権教育推進プラン」より)

(3)教科等の目標達成ための手立てと「資質・能力」育成の手立てとの整合性を持たせる。

「資質・能力」育成の手立ては、教科等の目標達成のための手立てと同じことが有効であり、相乗的な効果が期待できます。(交流活動、表現活動、教師の肯定的評価活動・・・)「資質・能力」育成の手立てとして意識して実践することが大切です。



- ・児童生徒の実態
(既習内容の定着、「資質・能力」の実態)
- ・指導のねらいは・・・
- ・有効な手立てとして・・・

主体的に**参加**する学習

協力し合う学習

体験的な活動を取り入れた学習

教科等の目標達成とともに「資質・能力」育成の観点からも検証します。学校として、重点単元を設定するなど工夫することが大切です。

(4)授業実践、ふりかえり

「資質・能力」の検証については、重点単元等を設定し、小単元、単元、年間等通じて、事前事後アンケート(自己他者肯定感テスト、自尊感情5領域テスト、人権意識アンケート等)による比較検証等が考えられます。

【参考】「よりよい人間関係を築く学校生活や授業」文部科学省初等中等教育局 視学官 杉田 洋

(平成25年度第一回福岡県人権教育研修会講演より)

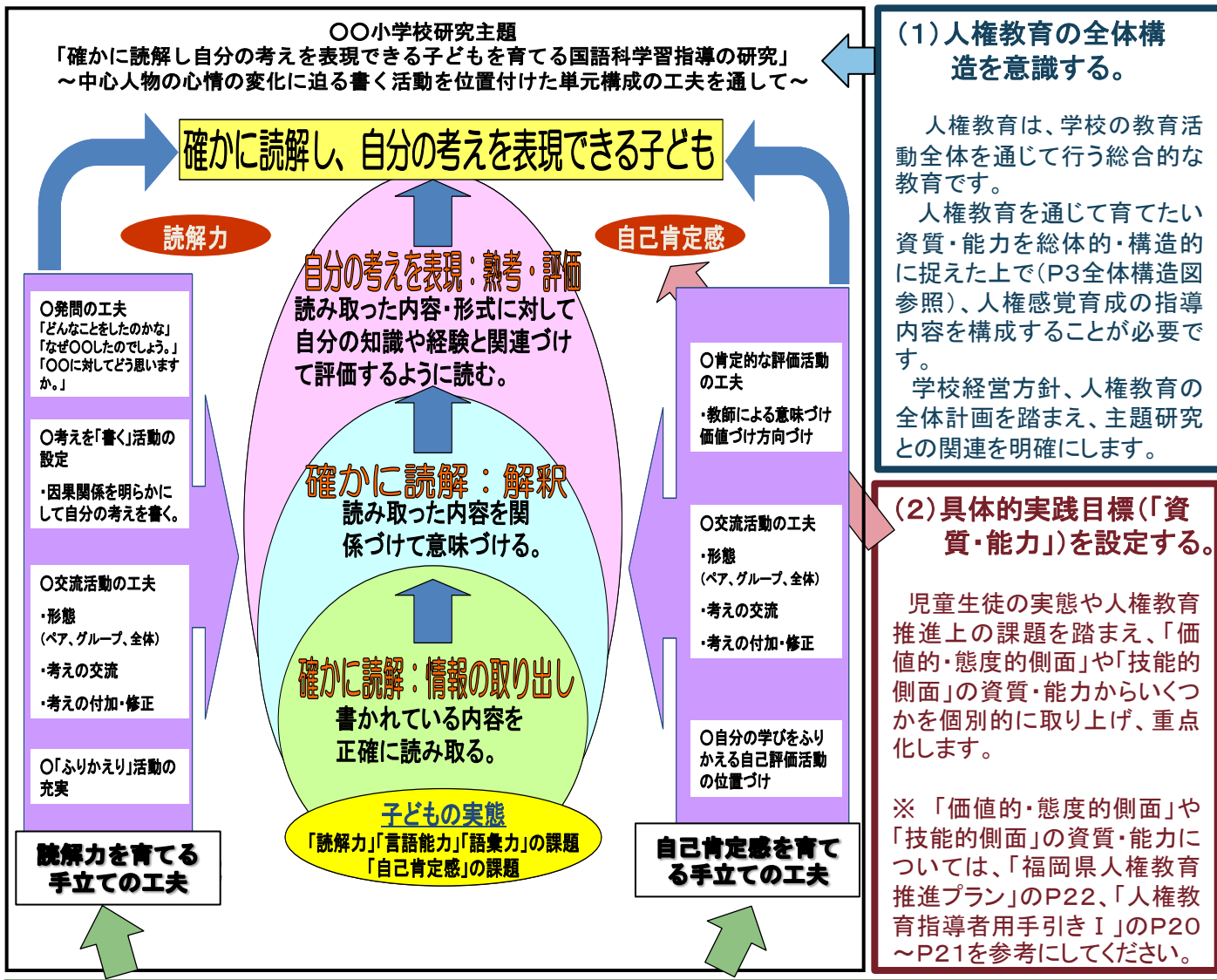
「話し合いの10ヶ条」

- ① 友だちの話を聞くときは、何を言いたいのかかわかろうと最後までしっかり聞きましょう。聞くとは、心をつなぐことです。
- ② 言いたいことを、みんなに聞こえる声で、みんながわかるように伝えましょう。みんなに伝わる声や話し方を意識することは、思いやりの第一歩です。
- ③ 自分の感じたこと、思ったこと、考えたことを間違っているかなと思っても、そのまま話しましょう。主張するとは、自分自身を大切にすることもできます。
- ④ わからない友だちには、自分のわかり方を説明しましょう。説明するとそれが自分の力になります。
- ⑤ わからないときは、わかるまで何度も聞き(尋ね)ましょう。学ぶとは、疑問に思うことであり、それを問うことです。
- ⑥ 人をばかにしたり、笑ったり、ひやかしたり、無視したりすることはやめましょう。それは人間としてとても悲しいことです。相手を大切にすることは人権尊重の第一歩です。
- ⑦ 友だちの話をよく受け止めてから、自分の考えを整理したり、まとめたりしましょう。集団思考は、受け止めることから始まるし、話し合いは聴き合いだからです。
- ⑧ 話している人が誰かではなく、話の中身をよく聞いて、考え、判断しましょう。他者の話す中身を参考にしたり、生かしたりするからこそよりよい判断や結論が見いだせるのです。
- ⑨ 自分の考えに固執したり、無理に押し通そうとしたりしないようにしましょう。わかり合いや共感、折り合いは、共に生きていく人間関係づくりの第一歩です
- ⑩ 違う考え、異なる意見をできるだけ大切にしましょう。違いや多様性を大事にするからこそ、新しい考えが生まれるのです。そして、いじめの未然防止は、違いを排除しないことから始まります。

有効な手立てとしての話し合い活動

3 人権教育を通じて育てたい資質・能力の主題研究への位置付け

下記の例示は、主題研究として「確かに読解し自分の考えを表現できる子どもを育てる国語科学習指導の研究」を推進していく過程に、児童の実態を踏まえ、自己肯定感を人権教育を通じて育てたい資質・能力として位置付け、その育成を図るものです。国語科の学習過程において、自己肯定感を育てる手立てが明確に示されています。その手立てには「読解力を育てるための手立て」と重なるものもあり、読解力と自己肯定感育成の有機的・相乗的な効果を目指して取り組まれています。



(3) 主題研究との整合性[手立て等]を図る。

主題研究の内容、研究教科等の目標やねらいと重点化した「資質・能力」との関連を明確にした上で、有機的・相乗的に効果を上げられるようにしていくことが重要です。

主題研究における手立てと「資質・能力」を育成する手立てとの整合性を図る必要があります。

「効果のある学校」

【参考】効果のある学校 (effective school)

(「人権教育の指導方法等の在り方について[第三次とりまとめ]より)

今日、「効果のある学校」に関する研究が国内外で進められている。これらの研究では、「教育的に不利な環境の下にある児童生徒の学力水準を押し上げている学校」において、学力の向上と人権感覚の育成とが併せて追求されている点に注目しており、人権感覚の育成は、児童生徒の自主性や社会性などの人格的な発達を促進するばかりでなく、学校の役割の大事な部分を占める学力形成においても成果を上げているとの指摘を行っている。

一人一人の個性やニーズに応じた基礎学力を獲得するためには、学校・学級の中で、現実に一人一人の存在や思いが大切にされるとい状況が成立していなければならないからである。

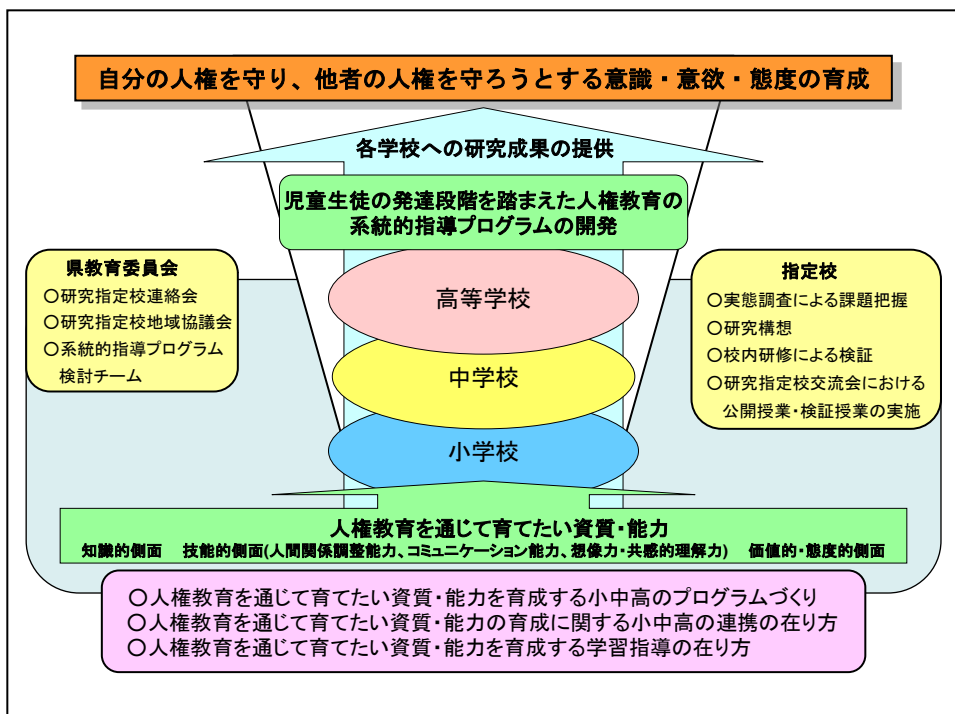
4 「人権教育の系統的指導プログラム開発事業」とは

平成24年度から平成26年度の3年間、県内の小・中・高等学校から21校を指定し、各学校において、児童生徒の発達段階を踏まえた人権教育の系統的指導プログラムの開発に係わる実践的な研究を行い、その成果をまとめて県内の各学校に普及することにより、本県の人権教育の推進を図る事業です。

人権教育を通じて育てたい資質・能力の中でも、特に想像力・共感的理解力、コミュニケーション能力、人間関係調整能力に焦点を当て、小学校、中学校、高等学校の発達段階に即した系統を整理するとともに、教科等における指導内容、指導方法を究明します。

※「系統的指導プログラム」とは、指定校の具体的な研究内容を指し、児童生徒の実態を踏まえた「資質・能力」の定義、小学校、中学校、高等学校の学年進行に応じた「資質・能力」の系統表、「資質・能力」を位置付けた教科等学習指導案等のことである。

- (1) 他の人の立場に立ってその人に必要なことやその人の考えや気持ちなどがわかるような想像力、共感的に理解する力【想像力・共感的理解力】
- (2) 考えや気持ちを適切かつ豊かに表現し、また、的確に理解することができるような、伝え合い、わかり合うためのコミュニケーションの能力やそのための技能【コミュニケーション能力】
- (3) 自分の要求を一方的に主張するのではなく建設的な手法により他の人との人間関係を調整する能力及び自他の要求を共に満たせる解決方法を見だしてそれを実現させる能力やそのための技能【人間関係調整能力】



【事業の成果】

- 人権教育を通じて育てたい資質・能力を位置付けた教科等の授業づくりを通して、教科等の目標と人権教育の目標を併せて追求する手立ての有効性が明らかになったこと。
- 小学校・中学校・高等学校を1つのまとまりとして取り組んできたことで、児童生徒の発達段階に応じた人権感覚育成の系統的指導プログラム(資質・能力の系統表、学習指導案等)が作成できたこと。

指定校一覧

コミュニケーション能力	大川市立大川小学校
	大川市立宮前小学校
	大川市立大川中学校
	行橋市立今元小学校
	行橋市立葦島小学校
	行橋市立今元中学校
人間関係調整能力	福岡県立青豊高等学校
	岡垣町立内浦小学校
	岡垣町立吉木小学校
	岡垣町立岡垣中学校
	桂川町立桂川小学校
	桂川町立桂川東小学校
	桂川町立桂川中学校
福岡県立嘉穂総合高等学校	
想像力・共感的理解力	筑前町立東小田小学校
	小郡市立小郡小学校
	久留米市立北野中学校
	筑紫野市立二日市北小学校
	筑紫野市立天拝小学校
筑紫野市立二日市中学校	
福岡県立柏陵高等学校	

コミュニケーション能力 【大川市立大川小学校・宮前小学校・大川中学校】

実践の特徴

本事業と併せて、校区の保育所、幼稚園とも連携し実践している。コミュニケーション能力を3能力6領域で整理し、授業の手立てとして「3段階の話合い活動」と「自己評価活動」を位置付けている。

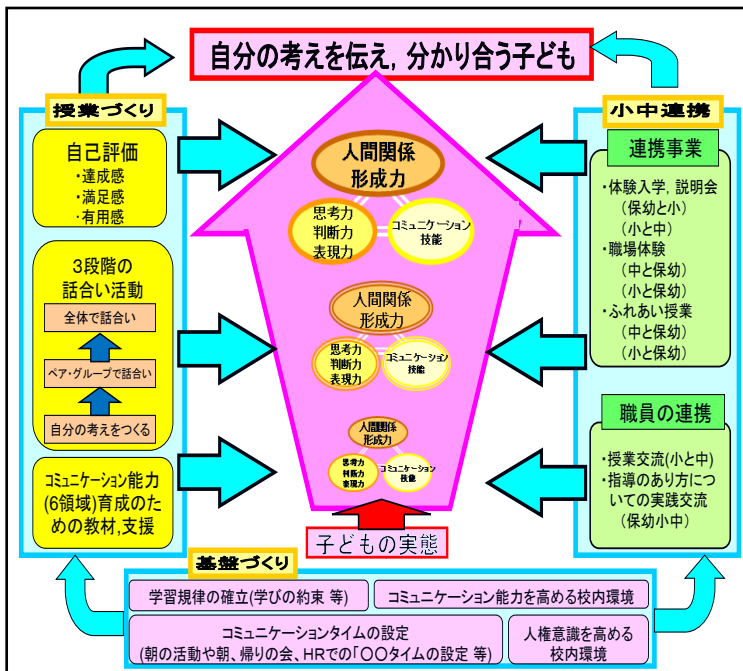
育成する資質・能力
【目指す子ども像】

○友達の考えを共感的に受け止めて、傾聴したり、話したりする子ども
(コミュニケーション技能)

○友達の考えと比べながら聴き、よりよい考えをつくり伝えたり、話し手の考えや思いを想像したりすることができる子ども
(思考力・判断力・表現力)

○相手の立場や状況を考えて、自分の考えを伝えたり、相手の考えを理解したりして、よりよい人間関係をつくり、問題を解決することができる子ども
(人間関係形成力)

研究構想図



研究の構想【コミュニケーション能力系統表】

大川中学校区 コミュニケーション能力系統表(H25)

3能力 6領域	コミュニケーション技能		思考力・判断力・表現力		人間関係形成力	
	話す	聴く	思考力 判断力	表現力	人間関係力	合意形成力
幼稚園 保育園	・はっきりした発音で話す。	・相手を見て静かに聞く。 ・最後まで聴く。	・自分の思いを友達に伝えることができる。	・自分のイメージを動きや言葉などで表現することができる。	・力を合わせる大切さを知り、友達を思いやる気持ちを持つことができる。	・相手にも思いがあることを知り、受け入れようとするすることができる。
小1年	・姿勢や口形、声の大きさや速さに気を付ける。 ・順序を表す言葉を使う。	・話し手を見て、最後まで聴くことができる。 「わかりました」(うなずく)	・自分の考えをつくり友達の考えと比べることができる。	・したことや思ったことを表現することができる。	・友達の考えを受けとめ、仲良く助け合うことができる。	・互いの考えを確認し、まとめることができる。
小2年	・「はじめに」「次に」「最後に」「～です」「～ます」					
小3年	・言葉の抑揚や強弱、間の取り方に気を付ける。 ・理由を言う。「なぜなら」「このようにことから」	・話し手に反応を示しながら聴くことができる。 (うなずく)	・友達の考えと比べながら、自分の考えをつくる ことができる。	・相手や場面を意識しながら、分かりやすく表現することができる。	・友達の思いや考えを受けとめ、協力し合うことができる。	・互いの考えの共通点や相違点を確認し、新たな考えを持つたり、まとめることができる。
小4年						
小5年	・速度や音量、言葉の調子や間の取り方に気を付ける。 ・関係づけて言う。「私だったら～」「～が分かりました」「要するに～」	・話し手の考えや思いを共感しながら聴くことができる。 (うなずく)	・友達の考えと比べながら、自分の考えを組み立てることができる。	・考え、感じ、想像したことを状況に応じて分かりやすく表現することができる。	・様々な思いや考えを理解し、信頼し支え合うことができる。	・互いの考えや立場を理解し、考えを繰り返すことができる。
小6年						
中1年						
中2年	・資料や機器を効果的に活用することができる。	・相手をよく見て、話し手の考えや思いを共感しながら聴くことができる。 (うなずく)	・相手の考えや意見を尊重し、自分の考えと比べながら、考えを広げることができる。	・相手の考えを受け入れ、状況に応じて多様に表現することができる。	・様々な思いや考えを尊重し、信頼し高め合うことができる。	・互いの考えや立場を尊重し、考えを理解し、考えを繰り返すことができる。
中3年						

話す・聴く力の育成



対話のポイントを意識したペアでの話合い

思考力・判断力・表現力の育成



解き方を説明したり協同で考えたりする話合い

人間関係力・合意形成力の育成



デジタル機器を利用した互いに評価する話合い

研究の構想【具体的手立て】

(1) 2つのねらい（教科等とコミュニケーション能力）を明確にした話し合い活動の設定

【ペア、グループでの話し合い活動】

学習のねらい	内容	組み合わせ	コミュニケーション能力
明確化	考えがなかなかつけれない場合、友達と話すことで自分の考えを明確にさせる。		聴く力 話す力
強化	友達に自分の考えを話したり教えたりすることで考えを強化させる。		思考力 判断力 表現力
付加・修正	友達と話すことで考えを付加、修正し、より高めさせる。		人間関係力 合意形成力

【全体での話し合い活動】

学習のねらい	内容	組み合わせ	コミュニケーション能力
拡散	いろいろな観点から見出した考え方について話し合わせる。		聴く力 話す力
選択・序列	どの考えが一番適しているかを比較し、話し合うことでよりよいものを見い出させる。		思考力 判断力 表現力
統合	それぞれの考えのよさを生かしてよりよい考えにまとめさせる。		人間関係力 合意形成力

(2) 達成感、満足感、有用感を持たせる自己評価の場の設定

- 達成感・・・学習したことが分かった、できた ○満足感・・・がんばった
○有用感・・・友達役にたてた、一緒にしてよかった

【自己評価の観点】

わ・・・わかったこと
が・・・がんばったこと
と・・・友達と学んでよかったこと
も・・・もっと学習してみたい

授業の実際

大川市立 大川小学校

第6学年 国語科
人物の生き方を考えながら読む 「海のいのち」

- 1 既習学習を振り返り、本時学習のめあてをもつ。

なぜ太一はクエをうたなかったのか考えよう。

- 2 本時学習の進め方について見通しを持つ。
3 **始めと終わりの太一の様子を比較しながら読み、太一の何がどのように変わったのかを話し合う。**
(1) 「なぜ太一はクエをうたなかったのか」**自分の考えを書く。**
(2) **ペア対話をし、考えを交流する。**
(3) **全体対話をし、考えを深める。**
4 本時学習を振り返り、まとめを書く。
○本時のまとめをし、「わ・が・と・も」の観点で振り返る。

【コミュニケーション能力育成のための支援】

○図形に対する見方や考え方を広げるために、多様な考え方のできる教材化の工夫をし、ペアでの協同的な問題解決活動を行い、「わかる」「ずらす」などの算数の用語を使ったり、図と式をつなげたりしながら話し合うようにする。

第2学年 保健体育科
器械運動 「マット運動」

大川市立 大川中学校

- 1 準備運動をし、本時学習のめあてをもつ。

班で1つの技ができるように、仲間と協力し、一生懸命練習しよう。

- 2 **班ごとに練習し一人一人の課題を見付け、技ができるようになるポイントについて明らかにし、班の中で発表会をする。**
(1) **技のどんなところに課題があるか考える。**
(2) **グループで、話し合う。**
(3) **全体で話し合い、技の習得のポイントについて話し合う。**
3 本時学習を振り返り、まとめを書く。
○本時のまとめをし、振り返る。

【コミュニケーション能力育成のための支援】

○ペアやグループで自分の考えを話したり、友達の考えにうなずいたり問い返したりするとコミュニケーションがうまくいったこと(「対話技」「聴き技」)に振り返らせる。

- ・会話をはずませるための言葉の提示(対話技)
- ・話を聴く時のポイント「う・め・ら・い・ス」の提示(聴き技)

- ⑤ うなずいて ⑥ 目を見て
⑦ ラストまで ⑧ 一生懸命 ⑨ スマイルで ⑩ 聞こう

大川市立 宮前小学校

第5学年 算数科
「図形の面積の求め方を考えよう」

- 1 既習学習を振り返り、本時学習の見通しをもつ。
・求積に必要な公式を選択し、ペアで交流する。

使う公式の数を変えても面積を求めることができるように、図形のわけ方を考えよう。

- 2 **求めるものに必要な公式の数の条件をもとに図形の面積について多様な見方や考え方へと広げる。**
(1) **公式を2つ使って求める方法(自力解決)**
① **図形の変形のさせ方やわけ方などの考えた過程を書く。**
② **ペアで考えを交流する。**
③ **全体で交流し見方考え方を広げる。**
(2) **公式を1つ使って求める方法(協同的な問題解決)**
① **ペアで交流しながら考える。**
3 **協同的な問題解決をした結果を共有し、図と式を関連付ける話し合いをする。**
① **全体で交流し見方考え方を広げる。**
4 本時学習を振り返り、まとめを書く。
「わ・が・と・も」の観点で振り返る。

【コミュニケーション能力育成のための支援】

○デジタル機器(デジタルカメラの動画)やアドバイスカードを活用して話し合いを行わせる。

コミュニケーション能力

【行橋市立今元小学校・養島小学校・今元中学校・福岡県立青豊高等学校】

実践の特徴

コミュニケーション能力の技能を4つの力「聴く」力・「話す」力・「伝え合う」力「関係を作り出す」力で整理し、コミュニケーション能力を育む授業の手立てとして、「交流活動」を位置付けている。

育成する資質・能力【目指す子ども像】と研究の構想【コミュニケーション能力系統表】

児童生徒に身につけさせたいコミュニケーション能力												
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3
目指す子ども像	目指す子どもの姿（行橋市「コミュニケーション科」カリキュラムより）											
「聴く」力	感謝の心をもち、相手を温かく見守る	相手のことを考え、やさしく接し、仲よくする	誰に対しても真心をもって接し、互いに理解し、信頼し、助け合う	相手の気持ちを考え、誰に対しても温かい心で互いに協力し合う	自分の役割や責任を自覚し、互いに高め合う	自覚をもち、自ら考えて判断し、相手のことを考えて協力し合う	人間関係の大切さを自覚し、誰に対しても温かい心で接する	公私の別を明らかにし、自分の考えを伝え、相手に対して適切に接する	自らの役割と責任を自覚し、互いに協力しながら温かく接する	相手に共感しながら自分の考えを分かりやすく伝えることができる	相手の立場や意見を理解することによって自分の考えを伝えることができる	社会の中での自分のあり方を想定し、積極的に集団に貢献できる態度をもつ
「話す」力	自分の考えをみんなの前で話すことができる	自分の考えを最後まではっきりと話すことができる	自分の考えを相手にわかりやすく話すことができる	自分の考えを相手にわかりやすく話すことができる	相手の意識しながら、自分の考えを相手にわかりやすく話すことができる	相手の立場や考えを自分のものとして受け止めながら聴くことができる	相手の立場や考えを自分のものとして受け止めながら聴くことができる	相手の立場や考えを自分のものとして受け止めながら聴くことができる	相手の立場や考えを自分のものとして受け止めながら聴くことができる	自分の考えを相手に分かるように論理的に話すことができる	自分の考えを相手に分かるように論理的に話すことができる	自分の考えを相手に分かるように論理的に話すことができる
「伝え合う」力	分からないことや詳しく聞きたいことを尋ねたり、それを答えたりすることができる。	自分の考えを最後まではっきりと話すことができる	互いの考えの相違点や共通点を考えながら、合意点を見つけようとして伝え合うことができる。	互いの考えの相違点や共通点を考えながら、合意点を見つけようとして伝え合うことができる。	話合いの目的を考えながら、話題に沿って伝え合うことができる。	話合いの目的を考えながら、話題に沿って伝え合うことができる。	話合いの目的を考えながら、話題に沿って伝え合うことができる。	話合いの目的を考えながら、話題に沿って伝え合うことができる。	話合いの目的を考えながら、話題に沿って伝え合うことができる。	話合いの方向を明らかにし、相手の理解を確認しながら、根拠や理由をつけて話すことができる。	話合いの方向を明らかにし、相手の理解を確認しながら、根拠や理由をつけて話すことができる。	話合いの方向を明らかにし、相手の理解を確認しながら、根拠や理由をつけて話すことができる。
「関係を作り出す」力	友だちの考えを受け止めながら、人とかかわることができる	友だちの考えを受け止めながら、人とかかわることができる	友だちの考えを受け止めながら、人とかかわることができる	友だちの考えを受け止めながら、人とかかわることができる	友だちの考えを受け止めながら、人とかかわることができる	友だちの考えを受け止めながら、人とかかわることができる	友だちの考えを受け止めながら、人とかかわることができる	友だちの考えを受け止めながら、人とかかわることができる	友だちの考えを受け止めながら、人とかかわることができる	他者のよさや感情を理解し、尊重しようとする	他者のよさや感情を理解し、尊重しようとする	他者のよさや感情を理解し、尊重しようとする

授業の実際

第5学年 算数科
「単位量あたりの大きさ」

行橋市立今元小学校

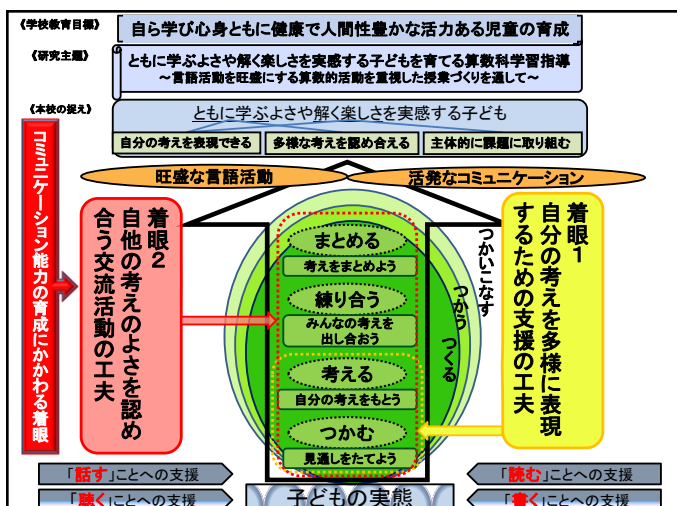
- 1 既習内容を振り返るとともに、本時の問題を把握し、見通しをもつ。
- 2 めあてをつかむ。

1 あたりを使って、どちらの考え方がよりわかりやすいかを考えよう。

- 3 自力解決をする。
○1Lあたりと1kmあたりで考える方法を選ぶ。
- 4 考えを交流する。

- (1) にこにこ交流をする。
- ①自分で交流の相手を決める。
 - ②自分の考えを相手に分かりやすく伝える。
 - ③気づきをもとに自分の考えをまとめる。

- (2) 全体交流をする。
- ①考え・意見を互いに出し合う。
 - ②具体例で燃費を理解する。
- 5 本時学習を振り返り、チャレンジ問題をする。



【コミュニケーション能力育成のための支援】
○互いの考えの相違点、共通点を考えながら、自分の考えを相手に分かりやすく伝えることができるように、主体的に相手を選ぶ「ペア交流・にこにこ交流」を設定している。

- 聴き方「あいうえお」、話し方「かきくけこ」の提示。
- あ いてをみて い けん・考え・思いを う なずきながら
え や図と関連づけて お わりまでしっかり聴こう
か んがえながら き ちんと相手を見て く ふうしながら
け つろんを先に こ んきよをはっきりと話そう

- 1 既習内容を想起し、本時学習につなげる。
- 2 問題解決の見通しについて話し合い、めあてをつかむ。



おなじ数ずつ人がのっているのりものを見つけて、のりかたをせつ明しよう。

- 3 調べる乗り物を決め3つの方法で調べる。
- 4 **ペアになり調べたことを伝える。**
 - (1) ペア交流をする。
- 5 **全体交流をする。**
 - (1) 調べたことを確認する。
 - (2) 問題場面をもとに、かけ算の式を知る。
- 6 本時学習を振り返る。
- 7 チャレンジ問題をする。

【コミュニケーション能力育成のための支援】

- 自分なりの考えを表現する場の設定
調べる方法として、・図に表すこと・たし算の式に表すこと・それらを言葉で表す3つの関係を提示し、好きな乗り物を選ばせる。
- 交流活動を位置付けた練り上げの場の設定
 - (1) 自分が調べたことの確認をするために、フリートークでの交流を行う。
 - (2) 友だちの考えを聞いて修正する時間もとり全体交流へとつなげ、基準量いくつ分の定着を図る。

知的コミュニケーション能力を育成する算数科学習指導

～互いに学び合う「表現・交流活動」の工夫を通して(全員参加の授業)～

「知的コミュニケーション能力」

視点1：多様な数学的表現の良さが分かり、活用できる。

視点2：考えの伝達や討論などの交流ができる。

視点3：話し合いや議論の大切さへの適切な態度が形成されている。

【着眼点1】
「数理をつくる→使う→使いこなす」の3段階を位置付けた単元構成
①既習と結びつきから思考をつなげていく
②内容や活動を「習得」と「活用」の2つの学習で配列する

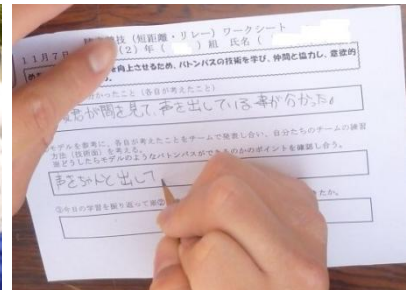
【着眼点2】
「表現」を解決しようとする明確な目的意識を持たせるための工夫
①2つの表現形式を使って自分なりの考えを表現する場の工夫
②交流活動を位置付けた練り上げの場の工夫
③定着を図る定着量の設定

【着眼点3】
学級の支持的風土づくり、学習環境や学び方の積み上げ
①既習内容の提示や学び方の指導
②養鳥タイムやチャレンジタイム等での基礎・基本の習得や表現力（聴く・話す・書く）の育成
③学級の支持的風土作り

- 1 学習用具を準備した後、準備運動をし、本時学習のめあてをもつ。

チームのタイムを向上させるため、バトンスの技術を学び、仲間と協力し、意欲的に学習しよう。

- 2 グループでバトンの受け渡しの練習を行う。
 - (1) **モデルを見て、バトンスで気をつけるべき点を考える。**
 - (2) **グループで教え合いながら練習する。**
- (3) タイムを計測する。
- (4) 整理運動をする。
- 3 本時学習を振り返る。



【コミュニケーション能力育成のための支援】

○自己の課題と目標を明確にさせるとともに、仲間と協力してチームの課題を解決するためにワークシートを活用して話し合いを行わせる。

- 1 本時のめあてを理解する。

詩の表現上の特色について、感じたことを他者に伝えるように表現しよう。また、他者の意見を聴いて、自分の考えを深めよう。

- 2 表現上の特色について考える。
 - (1) ワークシートに表現上の特色をまとめる。
 - (2) グループで意見交流する。
 - (3) 全体で意見発表をする。
 - ア **発表者の意図を聞き取りながらワークシートにまとめる。**
 - イ **発表を聴いたうえで自分の考えをまとめる。**
- 3 本時の内容を振り返り、自己評価をする。



教師が各自の教科で、コミュニケーション能力育成のための年間指導目標を立てて、指導内容・方法の工夫・改善に取り組む。

国語

テーマについてペアやグループ、全体で意見交流することで、自己の意見を表現する力や相手の意見を傾聴する姿勢を身に付けさせる。

【コミュニケーション能力育成のための支援】

○他者の意見を聴いて自分の考えを深めるための手立て
 (1) ワークシートに他者の意見を整理させる。
 (2) 同意見も反対意見も引用して、気づきや自分の考えの変容を含めて、自分の意見をまとめさせる。

実践の特徴

人間関係調整能力を「自他の理解能力」及び「コミュニケーション能力」の側面から整理している。人間関係調整能力を育む授業の手立てとして小集団活動を位置付け、お互いの人間的な成長を認め、自らを高めようとする児童生徒の育成を目指している。

育成する資質・能力

人間関係調整能力

自他の理解能力

自他の考え方や言動のよさを理解し、互いに認め合うことを大切にして、学びを進めていく能力である。

コミュニケーション能力

多様な集団の中で、コミュニケーションや豊かな人間関係を築きながら、自己の学びを進めていく能力である。

研究の構想 【人間関係調整能力系統表】

		自他の理解能力	コミュニケーション能力
小学校	低学年	○好きなことや嫌いなことをはっきり言う。 ○友だちと仲良く助け合う。	○あいさつや返事がきちんとできる。 ○自分の考えをみんなの前で話す。
	中学年	○自分のよいところを見つける。 ○学級の友だちのよいところを認め、励まし合う。	○自分の考えをわかりやすく表現する。 ○友だちの気持ちや考えを理解し、努力して学習や活動に取り組む。
	高学年	○自分の長所や短所に気づき、自分らしさを発揮する。 ○自分と異なる意見も理解しようとする。	○思いやりの心を持ち、相手の立場に立って考えを述べようとする。 ○様々な集団活動の中で進んで交流を図り、他者のよさに気づきながら学習を進める。
中学校	○自分のよさを知り、それを生かして自己の可能性を感じる。 ○身のまわりの人の立場を考えた言動をしながら学習を進める。	○目標を共有し、他者に配慮しながら積極的にかかわろうとする。 ○お互いの役割や立場を尊重し、長所を生かして助け合いながら学習を進める。	

コミュニケーション能力の育成

友だちの考えを聞いたたり、自分の考えを言うことができる。



自他の理解能力の育成

話す、聞くことを通して、自他の学びを尊重することができる。



コミュニケーション能力の育成

他者との意見交換を通して、コミュニケーションを図ることができる。



第2学年 算数科「かけ算」

- 1 既習の学習を振り返り、本時のめあてをつかみ、学習の見通しをもつ。

どんな計算になるのか、絵や図をかいてみよう。

- 2 値段の求め方について、絵や図を使って考える。
- 3 考えた内容を発表する。
- 4 問題を解く。

- (1) 考えたことを絵や図を使って説明する。
- (2) わかったことを発表させ、児童の言葉でまとめる。

- 5 学習を振り返る。

岡垣町立
吉木小学校



【人間関係調整能力育成のための支援】
○友だちの考えを聞いたり、自分の考えを言うことができる場面の設定をする。
・絵や図を使ってわかりやすく説明させる。
・友だちの意見をきちんと聞かせる。

岡垣町立
内浦小学校



第6学年 社会科「暮らしの中の政治」

- 1 既習の学習を振り返り、本時のめあてをつかみ、学習の見通しをもつ。

内浦地区の安全対策の現状や要望を話し合い、町民の願いや役場の働きについて考えよう。

- 2 安全に暮らせるように整備してほしい箇所について発表する。
 - (1) 調べたことを図や写真等を使って、わかりやすく説明する。
 - (2) 調べたことを黒板に貼ったり、書いたりして、構造的にまとめる。
- 3 早急に整備してほしい箇所について話し合う。
 - (1) 要望の根拠となる事実やデータをもとに話し合う。
- 4 役場の職員の話を聞く。
- 5 学習を振り返る。

【人間関係調整能力育成のための支援】
○互いの考えを受け入れ、意見を共感し合う場面の設定をする。
・調べたことを図や写真を使って構造的に発表させる。
・地域の実情や環境等、事実やデータを基にした話し合いができるようにさせる。

第3学年 理科「化学変化とイオン」

- 1 既習の学習を振り返り、本時のめあてをつかみ、学習の見通しをもつ。

塩化銅水溶液を電気分解して、両極に起きる現象を確かめよう。

- 2 班で実験結果の予想する。
 - (1) 予想する根拠に着目する。
- 3 個別実験を行う。
- 4 班で実験結果を考察する。
 - (1) 考えを整理するためにカードやフリップを使ってわかりやすく発表する。
- 5 学習のまとめをする。

岡垣町立
岡垣中学校



【人間関係調整能力育成のための支援】
○お互い立場を理解し、協力して助け合う場面の設定をする。
・助け合って操作が進められるように、役割を分担させる。
・教え合い活動が活性化するように、班長に助言する。

人間関係調整能力

【桂川町立桂川小学校・桂川東小学校・桂川中学校・福岡県立嘉穂総合高等学校】

実践の特徴

人間関係調整能力を3つの力で整理し、教科等における「言語活動の工夫」を中心に、小中高連携しながら実践している。人間関係調整能力を育む授業の手立てとして、「表現活動」「交流活動」を位置付けている。

育成する資質・能力【目指す3つの力】

- 自分の考えや気持ちを相手意識、目的意識をもって適切に表現する力（自己表現力）
- 他者の考えを能動的に傾聴し、理解（しよう）する力（他者理解力）
- 様々な考えを双方にとってプラスになるように解決する力（合意形成力）

研究の構想 【人間関係調整能力系統表】

		自己表現力	他者理解力	合意形成力
定義		自分の考えや気持ちを相手意識、目的意識をもって適切に表現する力	他者の考えを能動的に傾聴し、理解（しよう）する力	様々な考えを双方にとってプラスになるように解決する力
小学校	低学年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 相手に応じて、話す事柄を順序立て、丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて話す。 ○ 語と語や文と文との続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大事なことを落とさないようにしながら、興味をもって聞く。 ○ 書いたものを読み合い、よいところを見つける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 互いの話を集中して聞き、話題に沿って話し合う。 ○ 書いたものを読み合い、よいところを見つけて、感想を伝え合う。
	中学年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 相手や目的に応じて、理由や事例などを挙げながら筋道を立て、丁寧な言葉を用いるなど適切な言葉遣いで話す。 ○ 書くこととすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話の中心に気を付けて聞き、質問をしたり感想を述べたりする。 ○ 書いたものを発表し合い、書き手の考えの明確さなどについて意見を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 互いの考えの共通点や相違点を考え、司会や提案などの役割を果たしながら、進行に沿って話し合う。 ○ 書いたものを発表し合い、書き手の考えの明確さなどについて意見を述べ合う。
	高学年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話す。 ○ 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる。 ○ 書いたものを発表し合い、表現の仕方に着目する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合う。 ○ 書いたものを発表し合い、表現の仕方に着目して助言し合う。
	1年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全体と部分、事実と意見との関係を注意して話を構成し、相手の反応を踏まえながら話す。 ○ 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 必要に応じて質問しながら聞き取り、自分の考えとの共通点や相違点を整理する。 ○ 書いた文章を互いに読み合い、題材のとらえ方や材料の用い方、根拠の明確さなどについて意見を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話合いの話題や方向をとらえて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして自分の考えをまとめる。 ○ 書いた文章を互いに読み合い、題材のとらえ方や材料の用い方、根拠の明確さなどについて意見を述べたり、自分の表現の参考にしたたりする。
	2年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 異なる立場や考えを想定して自分の考えをまとめ、話の中心的な部分と付加的な部分などに注意し、論理的な構成や展開を考えて話す。 ○ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話の論理的な構成や展開などに注意して聞き、自分の考えと比較する。 ○ 書いた文章を互いに読み合い、文章の構成や材料の活用仕方などについて意見を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 相手の立場や考えを尊重し、目的に沿って話し合い、互いの発言を検討して自分の考えを広げる。 ○ 書いた文章を互いに読み合い、文章の構成や材料の活用仕方などについて評価して自分の表現に役立てるとともに、もの見方や考え方を深める。
	3年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会生活の中から話題を決め、自分の経験や知識を整理して考えをまとめ、語句や文を効果的に使い、資料などを活用して説得力のある話をする。 ○ 論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分のものの見方や考え方を深めたり、表現に生かしたりする。 ○ 書いた文章を互いに読み合い、論理の展開の仕方や表現の仕方などについて評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話合いが効果的に展開するように進行の仕方を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かしながら。 ○ 書いた文章を互いに読み合い、論理の展開の仕方や表現の仕方などについて評価して自分の表現に役立てるとともに、もの見方や考え方を深める。
高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理的な構成や展開を工夫して意見を述べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に話したり的確に聞き取ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合う。 	

自己表現力の育成



役割演技を通して自分の考えを伝えあう表現活動

他者理解力の育成



お互いの意見を聞き、より良い方法を見つけ出す交流活動

自己表現力・他者理解力の育成



調べたことをもとに考えた解決策を交流する活動

合意形成力の育成



チームの課題を検討し、解決策を探る交流活動

桂川町立
桂川小学校

第1学年 道徳
友だちと仲良く助け合う心 2-(3) 「くまさんの なみだ」

- いつも一緒に遊んでいる友だちの好きなところを出し合い、本時学習のめあてをもつ。
ともだちとなかよくすると、どんなきもちになるのかな。
- 「くまさんの なみだ」の紙芝居を見て話し合う。
○ みんなの邪魔をしているくまさんを見た時の気持ち
○ くまさんの足に木が落ちたのを見た時の気持ち
○ **木を動かそうとしたときの動物や、その時のくまさんの気持ち**
- 自分の生活を振り返り、助けたり助けられたりした経験を交流する。**
- 『ともだちはいいもんだ』を歌い、あたたかい雰囲気が終わる。

【人間関係調整能力(自己表現力)育成のための支援】
○自分の考えや気持ちを適切に相手に伝えられるよう、いろいろな表現方法を体験させる。

- ・くまさんの心の変化をとらえさせるため役割演技をさせる。(動作的表現活動)
- ・自分の生活場面での経験を交流させる。(言語的表現活動)

桂川町立
桂川東小学校

第5学年 国語科
理由づけを明確にして説明しよう 「グラフや表を引用して書こう」

- 既習学習を振り返り、本時学習の見通しをもつ。
説得力ある意見文にするためのポイントを見つけ、自分の意見文を見直そう。
- 説得力ある意見文にするためのポイントを話し合う。
(1) **3つのモデル文を比較し、どれが説得力があるか自分の考えとその理由を書く。**
(2) **グループで考えを交流する。**
(3) **全体で交流し、ポイントをまとめる。**
- ポイントを基に、自分の意見文を付加・修正する。
(1) **自分で付加・修正する。**
(2) **グループで助言し合う。**
- 本時学習を通した気づきを全体で交流する。
明らかになった訂正箇所とその理由を発表する。

【人間関係調整能力(他者理解力)育成のための支援】
○相手の思いを受け止めるとともに、自分の考えを明確にし、自他を認め合う体験をさせる。

- ・ポイントを見つけるために、お互いの考えとその理由をグループで交流させる。(交流活動)
- ・説得力ある意見文にするために、お互いの意見文に、助言し合う場面を設定する。(評価活動)

桂川町立
桂川中学校

第2学年 社会科
「日本の様々な地域 ー関東地方ー」

- 写真について気づいたことを共有し、本時学習のめあてをもつ。
人口集中による都市問題とその対策を考えよう。
- 学習の見通しを持つ。
○資料を見て、人口集中の問題点と現在とられている解決策を知り、学習の見通しを持つ。
- 課題を追求する。
(1) **人口集中によっておこる都市問題を、資料を使って調べる。**
(2) **都市問題を解決するための取組を考える。**
(3) **班で取組を交流しまとめる。**
(4) **全体で取組について話し合う。**
- 本時学習を振り返り、まとめを書く。
○ 本時のまとめをし、振り返る。

【人間関係調整能力(自己表現力・他者理解力)育成のための支援】

○考えや根拠を交流する活動により、自分の考えを述べるとともに、他者の意見を自分の考えと比較しながら聞くことで、より良い解決策を探る体験をさせる。

- ・根拠(自分で調べたこと等)をもとに、自分の考えを述べさせる。(表現活動)
- ・他者の意見を、自分の考えと比較しながら聞かせる。(交流活動)
- ・班で考えた取組をボードに書き、黒板に貼る。(考えの視覚化)

福岡県立
嘉穂総合高等学校

【人間関係調整能力(合意形成力)育成のための支援】
○教え合い活動を通して、個人やチームの課題を発見し、その解決策を探り、技能向上を図る体験をさせる。

- ・ペアやチームのプレーを観察させ、相手に応じた助言をし合う場面を設定する。(教え合い活動)
- ・チームの作戦に応じた動きができるよう、それぞれの課題や解決策を話し合う場面を設定する。(交流活動)

第2学年 保健体育(体育)科
球技 「バスケットボール」

- 準備運動をして、本時学習のめあてをもつ。
チームで協力し、一人一人の課題解決をめざそう。
- 基本技能の練習を行う。
(1) **ペアで助言し合いながらパス&シュート練習を行う。**
(2) **チームで助言し合いながら、ドリブル&ディフェンス練習を行う。**
- 課題を追求する。
(1) チームで3対2の攻防を行う。
(2) **チーム同士で助言し合う。**
(3) **助言を基に、チームでそれぞれの動き等を確認し合う。**
- 本時学習を振り返り、まとめを聞く。
(1) 全体で、本時で学んだことを交流する。
(2) 本時のまとめを聞く。

実践の特徴

「想像力」と「共感的理解力」をそれぞれ定義し、系統表を作成している。各校の研究教科の学習過程において、教科の特質に応じた交流活動の具体的な手立てを工夫し、「想像力」と「共感的理解力」の育成も図っている。

育成する資質・能力

【想像力】

○疑似体験や既習内容を踏まえて、その立場になって相手の感情や考えを推し量る力

【共感的理解力】

○相手の感情や考え、さらに、その原因や背景を自分のこととして分かり合える能力

研究の構想 【想像力・共感的理解力系統表】

	想像力	共感的理解力
小学校 低学年	身近な現象において、相手の表情、ことば等から気持ちや考えを思い浮かべることができる。	相手の考えや思いに自分の経験を重ねることができる。
小学校 中学年	様々な現象から、他者との関係において相手の気持ちや考えを思い浮かべることができる。	お互いの考えや気持ちの共通点や相違点を見つけることができる。
小学校 高学年	様々な社会問題の原因や背景について生活経験や既習内容を踏まえ推し量ることができる。	それぞれの立場や考え方、違い、価値観を認め合うことができる。
中学校	学校生活などの様々な場面で、相手の気持ちや考えを、その立場や役割と関連付けて考えることができる。	様々な違いを乗り越えて、共によりよく生きようとする意欲、態度など各自の生き方につなげることができる。

授業の実践

久留米市立
北野中学校

言語力を育成する場面を位置付けた教育活動の展開
～想像力・共感的理解力を高めていく授業の試み～

第1学年 理科「物質のすがた」

- 1 噴水実験のビデオを見て、どんな操作で噴水ができていのかを観察する。
- 2 本時のめあてを確認する。
噴水実験ができる理由を説明できるようになる。
- 3 エキスパート学習をする。
 - (1) グループに分かれ、それぞれの実験や資料について理解する。
 - (2) 実験を行う。
- 4 **ジグソー活動をする。**
 - (1) **グループを変え、エキスパート活動の資料についてそれぞれが説明する。**
 - (2) **課題について考える**
 - (3) **班で交流し、理由をまとめる。**
- 5 クロストークをして、それぞれのグループの意見を交流しあう。
- 6 本時の学習のまとめをする。

【想像力・共感的理解力育成のための支援】

○自分の考えを持たせる場面

- ・十分な時間の確保
- ・気になる生徒への助言、補助
- ・プリントの提示
- ・表現の仕方の工夫とモデルの提示



○意見交流の場面

- ・交流の仕方の提示や交流の視点の明確化
- ・交流の手法の工夫
- ・意見の述べ方、アドバイスの仕方の提示
- ・自他の意見を可視化し、比較する手立て
- ・他者の意見をメモするプリント等の準備

何について
どんな順序で
どのくらいの時間

ブレインストーミング、ロールプレイ等

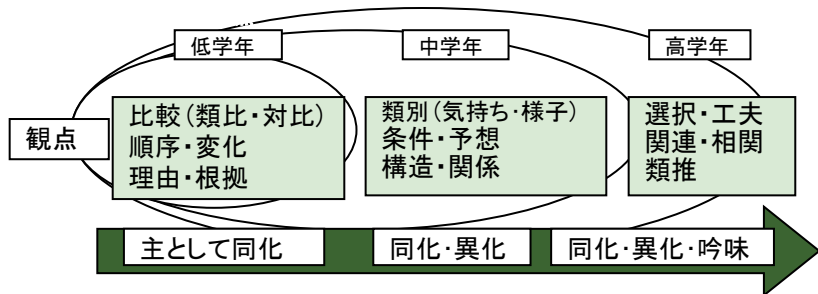
○自分の考えを再構築し、考えを広げたり深めたりする場面

- ・再構築するための工夫
- ・交流前と交流後で生徒自身が自他の意見の変化を確認できるための工夫

立場カード、学習プリントの工夫



想像力	場面の様子や登場人物の思いや願い、気持ちを読み取ったり、考えたりする力
共感的理解力	・登場人物の気持ちに自分の体験や思いを重ね、その立場に立って思いや願いを推し量る力 ・自分と異質の考えをまずは受け入れ、その思いを理解しながら、自分の考えを明確にしていく力



	主な学習活動	主な支援及び留意点
つかむ	(1)本時場面の音読 (2)めあてをつかむ	・音読で場面をつかませる。 ・単元当初に学習の見通しを持たせる。
つくる	(3)視点人物の気持ちと様子を 読み取り、ノートに書く。 (4)人物の心情になり、考えや 思いを書く。 ⑤交流する	・ノートの工夫・同化の発問 ・ペアやグループでの交流 意見の出し合い 共通点、相違点 相手の意見の説明
深める	⑥全体交流の中で、中心となる 出来事に視点を絞り、意見 交流する。	・構造的な板書の工夫 ・本時で共通して考えさせたいポイント
生かす	⑦本時学習で考えたこと、思っ たことを書く。	・異化の発問 ・意見交流による見方の広がりや 深まりへの助言

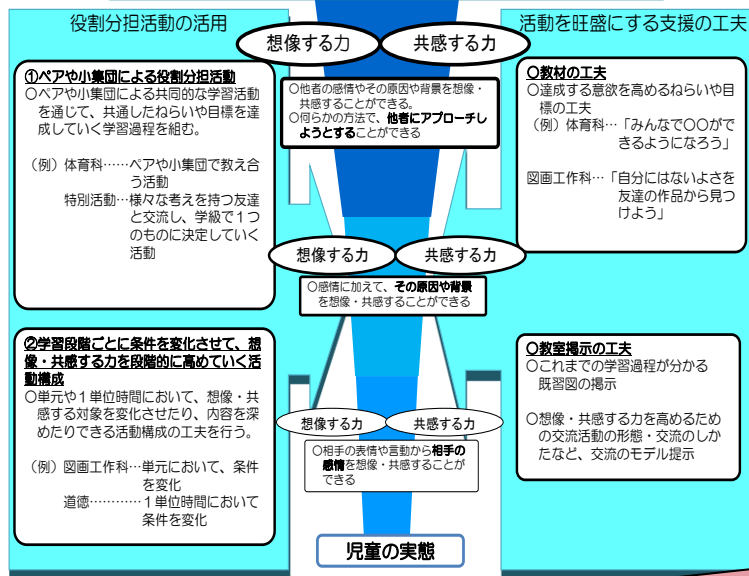
第4学年 国語科
「物語を読んで、感想文を書こう」
1 本時場面前半を読み、めあてをつかむ。
2 母との会話の後、ノービィが考えたことをまとめる。
三番目のお願いをしたノービィの気持ちを考えよう

- 3 ノービィの気持ちに分かるところに線を引き、気持ちを想像する。
(1) ノービィの気持ちを考える。
(2) 全体で交流する。
・自分が読みとりしたことを「どこから」「分かること」を発表し、交流する。
【想像力を高める活動】
- 4 この場面のノービィをまとめる。
(1) ノービィに題名をつける。
(2) 考えを交流する。(グループ→全体)
・ホワイトボードにまとめて学級全体で交流する。
【共感的理解力を高める活動】
- 5 今日の学習を振り返る。

【想像力・共感的理解力育成のための支援】
○自分の考えを出し合うグループ交流(話し合い)とお互いの考えの相違点を見つけるためのグループ交流を繰り返しながら、友だちの考えと自分の考えを合わせてまとめる機会を設定する。

想像・共感する力を高める子どもが育つ学習指導の創造
～互いの役割を意図的に設定した活動の具体化を通して～

想像・共感する力が高まる子どもが育つ学習指導の創造



第6学年 図画工作科 「瞬間コレクション」

- 1 前時学習を振り返り、本時学習のめあてをつかむ。
みんなで集めた「瞬間コレクション」を発表し合い、お互いの作品に題名をつけよう。
- 2 お互いの「瞬間コレクション」を見合い、作品のよさを認め合いながら、いろいろな表現のよさを感じる。
(1) 班ごとに各班の作品を見て回り、撮影場所と撮影方法を想像し交流した後、作品のよい所や気に入ったところを各自付箋に書き交流する。
(2) **撮影の意図を想像し、班で作品に題名をつける。**
(3) **説明役の子(各班代表1名)から撮影秘話を交えて、写真の説明を受ける。**
(撮影者の意図を想像し共感する活動)
- 3 各班の作品を紹介すると共に、前もって考えていた題名を発表する。
- 4 先生の話聞いた後、「今日の学習で」を書き、本時学習を振り返る。

【想像力・共感的理解力育成のための支援】
○他の班の作品に題名をつけることを通して、撮影者の意図を想像し、それを交流することを通して作者の意図に共感することができるようにする。

想像力・共感的理解力

【筑紫野市立天拝小学校・二日市北小学校・二日市中学校・福岡県立柏陵高等学校】

実践の特徴

教科間の関連化を意図的・計画的に図った人権学習プログラムの活用を通して、想像力や共感的理解力を育成する取組。学習過程に「参加的な学習」「体験的な学習」「協力的な学習」の形態を取り入れた指導方法の工夫を行っている。

育成する資質・能力

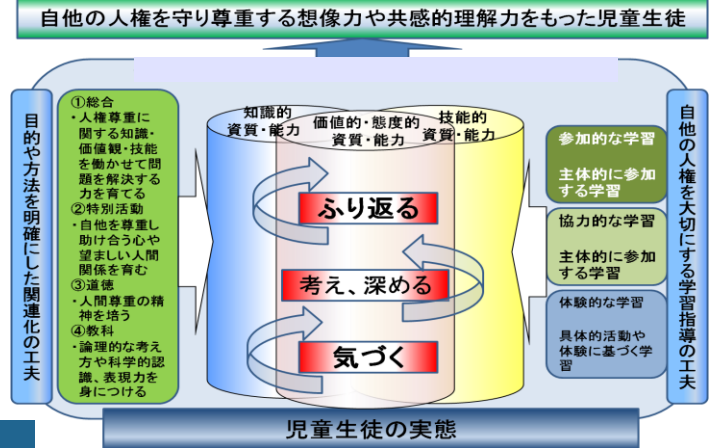
【想像力】

他の人の立場に立って、その状況やその人の見方、考え方に思いをめぐらし、その人の考えや気持ちに気づける力

【共感的理解力】

他の人の立場からその人の見方や考え方を受け止め、自分の問題としてとらえながら、その人に必要なことがわかる力

研究構想図



研究の構想 【想像力・共感的理解力系統表】

期待される自分像 ↓ 目指したい自分像	発達段階	めざす児童生徒の姿	
		想像力	共感的理解力
	小学校低学年	自分の考えや気持ちを見つめ、気づいたり考えたりすることができる。	
	小学校中学年	自分と同じように、周りの人の考えや気持ちを見つめ、気づいたり考えたりすることができる。	
	小学校高学年	自分の見方や考え方から（身近な）他の人の立場に立って、その人の考えや気持ちに気づいたり、その人に必要なことを考えたりすることができる。	
	中学校1学年	自分の見方や考え方から（身近な）他の人の立場に立って、その状況やその人の見方、考え方に思いをめぐらし、その人の考えや気持ちを感じることができる。	自分の見方や考え方から（身近な）他の人の立場に立って、その人の考えや気持ち、その状況に応じて必要なことを考え、実行する意欲をもつことができる。
	中学校2学年	見方や考え方の相違性に気づき、さまざまな人の立場に立って、その状況やその人の見方、考え方に思いをめぐらし、その人の考えや気持ちを感じることができる。	見方や考え方の相違性に気づき、さまざまな人の立場に立って、その人の考えや気持ち、その状況に応じて必要なことを考え、具体的に実行しようとする意志をもつことができる。
	中学校3学年	見方や考え方の多様性に気づき、さまざまな人の立場に立って、その状況やその人の見方、考え方に思いをめぐらし、その人の考えや気持ちを感じることができる。	見方や考え方の多様性に気づき、さまざまな立場にある人の考えや気持ち、その状況に応じて必要なことを考え、具体的に実行しようとするすることができる。
	高等学校	見方や考え方の多様性を理解し、さまざまな立場にある人の考えや気持ち、その状況に応じて必要なことを考え、適切に実行しようとするすることができる。	

「参加的な学習」

児童生徒が授業や活動において、主体的に感じ、考え、行動できることを目指す指導の工夫

- ・学習具の工夫
- ・自己決定場面の設定
- ・動作化・役割演技
- ・自分の課題を主体的に調べる学習

「体験的な学習」

児童生徒が体験や体験的活動を通して気づいたり、実感したりできることを目指す指導の工夫

- ・疑似体験的な活動
- ・参加体験型学習
- ・地域の方々との交流活動

「協力的な学習」

児童生徒が交流や協力し合うことを通して気づいたり、実感したりできることを目指す指導の工夫

- ・小集団による交流・作業
- ・グループで調べる学習

筑紫野市立
天拝小学校

第3学年 道徳

「相手の気持ちを考えて」中2-(3)

- 1 友だちとの関わり方について出し合い、本時学習の見通しをもつ。

友だちとすごすときに大切な気持ちについて考えよう

- 2 資料「ドッジボール」を読み、主人公の気持ちを考える。
 - (1) 「ぼく」の「けんじ」に対する見方と「やすお」に対する見方を考える。
 - (2) だまって砂場の方へ行ってしまった「やすお」を見たときの「ぼく」の気持ちを考える。
- 3 自分自身の経験を振り返る
- 4 教師の話を聞く。



【想像力・共感的理解力育成のための支援】

- 他者の立場に立って気持ちを見つめる場面を設定する。(参加的な学習)
- ・ペープサートを使ったり、役割演技をさせる。

筑紫野市立
二日市北小学校

第6学年 社会科

「身分と人々の暮らし」

- 1 江戸時代の支配体制と身分別人口のグラフを見て課題をつかむ。

町人や百姓からも差別された人々の暮らしについて調べよう

- 2 「差別されてきた人々」の暮らしについて調べる。
 - (1) 「差別されてきた人々」の仕事や制限について調べ交流する。
 - (2) なぜ、厳しく制限されてきたのか話し合う。
 - (3) 「差別されてきた人々」の労働(役)「差別されてきた人々」への命令について調べ、交流する。
- 3 「差別されてきた人々」の生き方に対する自分の考えをまとめる。



【想像力・共感的理解力育成のための支援】

- 主体的に課題について調べ、考えを述べ合う場面を設定する。(参加的な学習)
- ・他者の意見を、自分の考えと比較して付加・修正させる。

筑紫野市立
二日市中学校

第2学年 理科

「電流とその利用」

- 1 既習の学習内容を振り返り、本時学習のめあてをもつ。

みんなが電流の規則性を見つけ、利用できるようになろう。

- 2 前時の実験結果をもとに電流の規則性を見だし、回路の各点の電流を数値ではなく、 I_1 、 I_2 などの式で表現させる。
 - (1) 実験班で論議した後、他の班のデータも参考にする。
 - (2) 自由に動いて他の班と意見交換をする。
 - (3) 規則性を見つけた生徒は黒板のネームプレートを移動する。
 - (4) わかった生徒はわからない生徒に教える。
- 3 並列と直列が組み合わさった発展問題に取り組み、回路の各点の電流の大きさを、 I を使った記号で表現させる。
 - (1) わかった生徒はわからない生徒に教える。
 - (2) 全体に共有したい考えをもった生徒を全体に知らせる。
 - (3) 生徒の主体的な活動を肯定的に評価する。
- 4 本時の学習を振り返る。



【想像力・共感的理解力育成のための支援】

- 教え合いながら課題を解決する場面を設定する。(協力的な学習)
- ・他者の意見を自分の考えと比較しながら聞かせる。
- ・わからない生徒に教えることを通して理解を深めさせる。

福岡県立
柏陵高等学校

第2学年 保健体育科(体育)

ダンス「創作ダンス」

- 1 二人組で準備運動をし、動きの要素やポーズの模倣を行う。

題材のイメージに合ったダンスを創ろう

- 2 「春」「夏」「秋」「冬」のテーマから表現したい題材を選び、イメージを出し合う。
 - (1) 出し合ったイメージから3つを選び、ストーリーを創る。
 - (2) 選んだ3つのイメージを、始め、中、終わりの構成で協力してダンスを創る。
- 3 創ったダンスを発表し、ワークシートに感想を記入する。
- 4 本時の学習を振り返り、感想を出し合う。



【想像力・共感的理解力育成のための支援】

- 場面を想像したり相手の意思を考えて行動する場面を設定する。(協力的な学習・体験的な学習)
- ・状況に相応しいイメージを想像させ、互いの考えを述べさせる。
- ・相手の気持ちを考えて、合わせた動きをさせる。

「人権教育を通じて育てたい資質・能力を
位置付けた教科等の授業づくり」(人権教育資料Ⅲ)

[連絡先]

福岡県教育庁教育振興部人権・同和教育課(福岡市博多区東公園7番7号)

指導班 TEL 092-643-3917

FAX 092-643-3919

e-mail : kdowa@pref.fukuoka.lg.jp

福岡県行政資料	
分類記号 I A	所属コード 2132113
登録年度 26	登録番号 0001